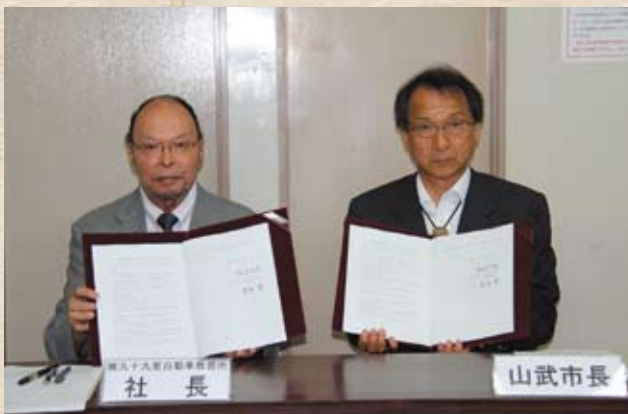


半世紀の歴史に幕、 そして新たにスタート

平成22年10月から松尾自動車教習所は民営化となります



▲市営松尾自動車教習所の経営移譲に関する協定締結
左から(株)九十九里自動車教習所菅原代表取締役と椎名市長



▲関係者と教習コースにて

近年、教習所を取り巻く環境の変化は大変激しく、少子化などの影響で新たに免許取得する利用者が減少傾向にあり、厳しい経営環境の中で、経営改善に努めてきましたが、公営の自動車教習所として存続することは困難な状況にあります。教習所自体は高齢者講習の需要もあり、地域住民の利便性を考え経営を引き継ぐものです。

近年、教習所を取り巻く環境の変化は大変激しく、少子化などの影響で新たに免許取得する利用者が減少傾向にあり、厳しい経営環境の中で、経営改善に努めてきましたが、公営の自動車教習所として存続することは困難な状況にあります。教習所自体は高齢者講習の需要もあり、地域住民の利便性を考え経営を引き継ぐものです。

市営松尾自動車教習所は、昭和35年に自動車の大衆化時代に備えて、旧松尾町が公営の自動車練習所として開設以来、間もなく半世紀を迎えます。

平成22年6月の市の定例議会で議決し、10月1日から株式会社九十九里自動車教習所へ経営を移譲することになりました。移譲後も現在と同じく、普通自動車・自動二輪車(中型・小型)の教習と高齢者講習など指定自動車教習所としての業務を行うこととなります。民間事業者の経営手法により教習生の皆さんには、今まで以上のサービスが期待できます。